



## ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島

過去の活動（2012年）

### 2012年11月17日 「第2回ひろしま健民コンクール」 優秀賞受賞

場所：広島市南区民文化センター（広島市南区比治山本町）

主催：ひろしま健康づくり県民運動推進会議



ひろしま健康づくり県民運動推進会議主催の第2回ひろしま健民コンクールにおいて、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会はがん対策部門で「優秀賞」に輝きました。

「食育」、「禁煙」、「運動」、「こころ」、「がん対策」の5つの部門で優秀賞に選ばれた団体、個人が広島市南区民文化センターにおいて活動発表を行い、同じ場所で最優秀賞が発表されました。

残念ながら、当ピンクリボン実行委員会は最優秀賞は逃しましたが、

これまでのキャンペーン活動の様子をスクリーンで紹介し、趣を凝らした元気あふれるプレゼンは、大変好評のようでした。

当実行委員会は2013年で設立10周年を迎えます。これからも、広島に根付いた市民活動として、



乳がん早期発見のためのピンクリボンキャンペーンを、地道に着実にやってまいります。

（上写真）大会会長で元広島東洋カープ選手衣笠祥雄と。

### 2012年9月29日 第6回 「ピンクリボンdeサンフレッチェ」開催

場所：広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）（現 エディオンスタジアム広島）



対サガン鳥栖戦で、第6回目となる“ピンクリボンdeサンフレッチェ”を開催、広島ビッグアーチ（現 エディオンスタジアム広島）のおまつり広場は、早朝から多くのサポーターや家族連れで賑わいました。

安田大学書道ガールによる作品の横断幕に、会場に訪れた皆さんか



らサンフレッチェ選手へたくさんの応援メッセージをいただきました。安田大学の学生たちも一緒になって、企画から当日運営までを行うため、夏休み中も、バイトや勉強の合間に計画を進めていました。

ピンク色のテントでは、



広島県臨床検査技師会、細胞検査技師会による「がん細胞をみてみようコーナー」のほか、東芝製マンモグラフィ機器の展示と放射線技師会によるマンモグラフィ検査についての説明があり、多くの方で賑わっていました。





オリジナルストラップづくりのコーナーでは、お子さまを中心とした参加者が、安田大学の学生に教わりながらオリジナルのピンクと紫の素敵なストラップを作っていました。選手のサイン入りボールやユニフォームが当た

るくじ付きとあって、100セットはあっという間になくなってしまいました。

また、スタンプラリーでピンクのテントを回り、乳がんについて詳しくなって、カルビーのお菓子がもらえるという催しも。さらにマンモグラフィ搭載検診車が2台やってきて、事前



に申し込まれた方を中心に約80名の方に無料でマンモグラフィ体験検診を受けていただきました(協力:広島県地域保健医療推進機構、広島県集団検診協会)。

マンモグラフィ検診車の前のテントでは、触診模型を8台設置し、看護師さんたちの指導のもと、自己触診を学びました。若いカップルから親子



連れまで多くの方が参加されました。この日は、サッカー観戦に来られた多くの方々に、乳がん検診を受けましょう!と効果的にアピールでき、乳がん早期発見の大切さを伝えることができました。



☆ご支援に感謝いたします。

## 2012年6月11日 「ピンクリボンdeカーブ in みよし」開催 (プレストケア・ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会協力事業) 主催:ピンクリボンキャンペーンinみよし実行委員会 場所:三次市きんさい球場(三次市東酒屋町)



三次市女性団体や医療機関、乳がん患者会などで組織するピンクリボンキャンペーンinみよし主催による三次市で初めての「ピンクリボンdeカーブ」が開催されました。

当実行委員会はこの活動に協力し、活動費の一部を助成しました。

乳がん自己検診コーナーでの触診指導のほか、アンケート調査、総合検診(がん検診)の啓発と申し込みの受付も行っていました。



スライリーと三次きんさい祭のマスコットキャラクターどんちゃんも、乳がん早期発見のための検診を受けよう、とPRしてくれました。ピンクリボンPRのためのうちわ7,000枚が来場者へ配布されました。試合5回終了後のPRタイムでは、三次高等学校チアリーディングチームのパフォーマンスがあり、観客の皆さんはうちわを振って応援しました。

## 2012年6月10日 第6回 「ピンクリボンdeカーブ」開催

場所：MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島（広島市南区南蟹屋）

対オリックス戦で、ピンクリボンdeカーブが開催されました。乳がん検診率50%を、選手もいっしょになって呼びかけるこのキャンペーンは、今年で6回目となります。

ボランティアは、パフォーマンスの学生を含め過去最高の278名です。



始球式では乳がん体

験者の応募の中から抽選で選ばれたY.Iさんが登場し、孫を抱いた娘さん夫婦の見守る中、力いっぱい投球しました。また、抽選にはずれた方も一緒にダッグアウトに並びました。始球式のあとも、記念写真を撮ったり交流を深めていました。選手たちは左袖にピンクリボンワッペンを付けて試合に臨みました。5回裏には安田大学・安田女子短期大学の学生155人による元



気あふれるパフ  
ォーマンスも。



本部のピンクテントでは、カーブ&ピンクリボンコラボTシャツや、選手の皆さんによる100枚のサインカードが協賛販売されました。グッズの売り上げは今年のピンクリボン活動に使わせていただきます。検診車ゾーンでは、事前に申し込みをされた方々がマンモグラフィ体験検診を受けられたり、触診模型を使



っての看護師による触診指導もありました（協力：広島県地域保健医療推進機構、広島県集団検診協会）。

カバ広場では、東芝製マンモグラフィ機器の展示と、放射線技師による説明、触診指導。さらに、乳腺疾患患者の会のそみの会、福山アンダンテ、財団法人広島県集団検診協会による乳がん情報提供コーナー、啓発リーフレットやプレゼントの配布、ピンクリボングッズ販売などがあり、子ども連れの家族など多くの人で賑わっていました。



ウッドデッキでは、看護師による触診指導のほか、パネル展示、ピンクリボングッズの販売。実行委員会のピンクリボンタオルも人気でした。

対オリックス戦のこの日はカーブが勝利し、球場が熱気に満ちた中、乳がんの早期発見＝プレストケアの重要性を多くの人にアピール。乳がんになっても積極的に生きる姿勢を元気に伝え合うキャンペーンを展開。カーブがハッピーな時に現れる「ハッピースライリイ」は、ピンクリボンdeカーブの時にもよく出現します（下右写真）。

ピンクリボンを合言葉に、みんなで取り組む機運を高めること、そして、乳がん体験者や家族を支える社会的な風土をみんなで作っていきましょう！

☆協賛企業、団体の皆様、ご協力に感謝いたします。



## 2012年3月30日 「ピンクリボンdeカーブ in みよし」ウォーミングアップ学習会

場所：三次市生涯学習センター（三次市十日市東）



2012年6月10日(日)マツダスタジアムでの“ピンクリボンdeカーブ”につづき、翌日6月11日(月)は、三次市きんさい球場で“ピンクリボンdeカーブ in みよし”が開催されます。

それに先駆けて、いっしょに三次でのピンクリボンキャンペーンに取り組んでくださる方々を対象とした学習会を三次市生涯学習センター2階視聴覚室で行いました。

想定以上に参加者が集まり、職員の皆さんには椅子を運び入れたりなどの対応をしていただきました。参加者は、三次の女性団体、医療従事者、患者会などのほか、個人での参加もありました。



ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会からは、2004年から行っているのキャンペーンの概要などを説明し、この日來られた方全員にピンクリボンバッジをプレゼントしました。

三次中央病院外科医長の橋詰順司先生に

「乳がんの基礎知識」と題した講演でとてもわかりやすく説明していただき、参加者の皆さんは真剣な表情でお話を聞いていました。また、活発な質疑応答があり、参加者の自己紹介やピンクリボンdeカーブinみよしについての意見交換がありました。参加者の皆さんが所属する団体、また活動に賛同する個人も含めた三次での実行委員会で、乳がん早期発見の活動や乳がん検診率向上をめざすという意思統一をし、まずはピンクリボンdeカーブinみよしを成功させることを誓いました。

ピンク色の TENT などの備品やグッズは、前日に開催されるマツダスタジアムでの“ピンクリボンdeカーブ”終了後の翌日、カーブ球団に三次へ運んでいただく予定です。

三次市のご協力のもと動き始めた三次での実行委員会の活動費の一部は、ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会が助成します。



## 2012年3月16日 第5回 「ピンクリボンde広響」開催

演奏：広島交響楽団（ピアノ：小林愛実）

場所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町）



第5回目となる“ピンクリボンde広響”を開催し、舞台では美しいピンクリボンのマークが映し出されました。開場とともに入場されたお客さんは、ピンクリボンコーナーに足を止め、協賛グッズを購入する人、放射線技師による情報提供コーナーで熱心に話を聞く人など、ロビーは多くの人たちで賑わいました。お客様全員には、広島市の乳がん検診資料を当日のパンフレットと一緒にお渡しし、ピンクリボンコーナーに

来られた方には啓発リーフレットも差し上げました。

乳がんについてのパネル展示のほか、触診模型を使っでの自己検診の方法を学ぶコーナーでは、多くの女性たちが列をつくり熱心に放射線技師から指導を受けておられました。協賛グッズコーナーでは、ピンクリボンde広響を記念して、協賛企業のアンデルセンさんのクッキーとHABAさんのタオルハンカチのセットを販売、購入者へはHABAさんのソープをプレゼントしました。

また、ピンクリボンde広響の主旨に賛同しご協賛をいただいた方の中から希望者へ、乳がん検診を無料で受けていただくことができました（協力：広島県地域保健医療推進機構）。

